

## 6. おわりに

本ディビジョンでは、具体的な活動の一つとして、第 87 春季年会期間中の平成 19 年 3 月 27 日に、日本化学会と英国王立化学会との日英交流の一環として、日英 GSC (Green Sustainable Chemistry) シンポジウムを開催した。日本から 3 名(石井康敬先生、石原一彰先生、茶谷直人先生)、英国から 3 名(Professor Chris Hardacre, Professor Tom Welton, Professor Steven Howdle)の講演をいただき、日英若手研究者による 20 件のポスターセッションを行った。200 名以上の参加を頂き、グリーンサステイナブルケミストリーへの関心の高さを改めて感じるとともに、本ディビジョンが果たす役割の重さを実感するものであった。

本ディビジョンレポート作成にあたり、今回は 4 つの主要分野を中心に、「環境・安全化学・グリーンケミストリー・サステイナブルテクノロジー」の現状と最前線、将来における課題を示した。レポート課題として環境化学に関連する幅広い分野を選んだが、網羅できていない分野もある。本ディビジョンは、今後も持続可能な社会実現のための化学の重要性をアピールしていく予定である。本レポートおよびディビジョン活動に関し、会員皆様の積極的なご提言をお願いする。

なお、本レポートを作成するにあたり、貴重なご意見を頂いた方々、中でもご多忙中レポート原稿をご執筆いただいた先生方に深く感謝申し上げます。

平成 19 年 5 月

日本化学会 環境・安全化学・グリーンケミストリー・サステイナブルテクノロジーディビジョン 主査  
金田 清臣